

長野県 子ども会

No. 68

平成30年12月20日発行

(一社)長野県子ども会育成連合会
長野市若里7丁目1番7号
長野県社会福祉総合センター内
TEL 026-225-0126
FAX 026-225-0133
Email:nakodomo-1@coffee.ocn.ne.jp

HERO ～みんなが主人公！ 新しい発見をしよう！～



第12回長野県子ども会

ジュニア・リーダーセミナー

第二回研修会開催

国立信州高遠青少年自然の家において、9月8日～9日（土・日）の日程で第二回研修会を開催しました。

6月の第1回研修会で12名のスタッフを選出し、第2回の研修会に向け、3回のスタッフ会にて準備を進めてきました。

今年度のテーマは、「HERO」

～みんなが主人公！～

新しい発見をしよう！

当日は、秋雨前線の影響で高遠は雨が降ったりやんだりとなり、雨天のプログラムでのスタートとなりました。今年度は、「障害があっても安心して参加できる子ども会をつくりたい」との願いから、1日目に、SBCラジオ「里枝子の窓」のパーソナリティで活躍されている広沢里枝子さんをお招きして交流会を持ちました。はじめに、広沢さんの小さい頃から現在に至るまでのお話をお聞きし、目の視野がだんだん狭くなり失明されたこと。そんな時、友達や周囲の方々が、暖かく包み込んでくれたことで、前を向いて歩いてこられたそうです。

野外でのウォークラリーの時間には、雨が上がり、広沢さんとの交流を更に深めることができました。

夕食後にはキャンドルファイヤー、翌日に記念品作り・野外炊飯等予定された体験学習を実施することができました。

ジュニア・リーダーセミナーの様子



第46回関ブ口地区子ども会

ジュニア・リーダー研修大会
—ジュニア・リーダー5名が参加—

8月10日～12日（金～日）の日程で、日本列島猛暑の中茨城県水戸市少年自然の家において、「つなげようユースまでリーダーのバトンを」をスローガンに、開催されました。他県との交流を

もに、各
自の参加
目標に挑
戦し、自
分を見つ
め直す機
会となり
ました。

全国子ども会シニア・リーダー研修会

今年で5回目を迎える研修会が、9月22日～23日（土・日）の日程で、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。

講義の中で、「司会とファシリテーターの違い」、「どこでどこを」「努力しているところ」「困ったところ」の3つを使つての演習では、何事もすぐ否定的になるのではなくポジティブな発言が実践できるようにしたいとの感想をいただきました。

○リーダーとして応用にも感じて考えさせられた。他人のつらさを分かってむを開いてもらうための技術力は大切だと感じた。

○まだ患者を持った人たちの対応が足りないと思いました。そして、目の不自由な人への声のかけ方などについて、とてもいい勉強になりました。不自由な人でも普通の人と同じ生活ができる社会になってほしいと思います。

○色々な話を聞いたり、レクをしたりして、改めて人と人の関わり方を考えられた。浜沢さんは前向きにジョギングに生かそうと思った。なので、私も広東さんのように仲間つたりしたら仲間を見つけたら、考え方を変えてみたいですし、明るく生きていきたいと思った。

- 話を聞いていて感動した。自分でもできることがあったら手伝いたい。
- 広沢さんは中学生時代に「目が見えないから」というだけで、ひどいじめを受けたにもかかわらず、力強く生きているその「生き様」に感動しました。
- 「障害とは社会と人との間にある壁だ」という言葉が心に残った。身近なところから動いていきたいと感じた。
- 広沢さんの目として行動したのが、とても難しかった。何度も広沢さんが堪えにくいのではと思ったが、広沢さんに「上手」と言われ嬉しかった。目の見えない人が感じていることを沢田学さんができた。

ウェルカムパーティー



関フロ地区子ども会育成研究協議会開催

「もつと輝け！育成会」

「再発見！飛躍につなげよう」をスローガン・キーワードに、第51回関フロ地区子ども会育成研究協議会が、9月30日（10月1日（日））栃木県那須町において開催され、長野県からは13名が参加しました。

当日は台風の通過で激しい風雨に見舞われましたが、参加者一同それぞれ「育成会の楽しみ方」を年齢別に別れて6分科会、「ユースリーダー」としての子ども会活動「これからの安全啓発活動」の計8分科会に分かれて、熱心な意見交換や討議が行われました。



分科会の様子

指導者講習会開催

■第1回 10月6日（土）伊那市防災

コミュニティセンターにて開催

講師に長野県レクリエーション協会会長竹中雅幸氏をお迎えし、諏訪・上伊那・飯伊地方の指導者・育成者の皆さんが、「子どもの笑顔と元気を引き出すレクリエーション」について、学ぶことができました。自己紹介の仕方やアイスブレーキングによる心のほぐし方など、全員で活動する楽しさを体験することができました。

また、ゲームなど具体的に体を動かすことで、仲間とのコミュニケーションを取る必要性や大切さが理解できる講習会でした。



第1回



第2回

（第2回）安全啓発指導者養成講習会（初級コース）

本年度第2回標記講習会が、12月8日（土）岡谷市「あいとびあ」において、全子連安全啓発中級指導者の山田賢一先生に講師をお願いして開催しました。

当日はお天気も良く、諏訪湖が一望でき、その先には富士山が眺められました。諏訪・上伊那・飯伊の市町村の役員・事務局の皆さんや松本市のリーダーを含めて18名の参加となりました。

講習は、遊びの概念から始まり、遊びの重要性を含めて、子どもたちの安全教育に対する啓発活動について、アクティ

■第2回 10月21日（日）佐久穂町茂来館（もらいかん）にて開催

講師に、日本体育大学体育学部アスレティックトレーニング研究室助教 佐々木さはら先生をお迎えし、「子どもたちの活動時に対するケガの種類、発生と予防対策、応急処置やウォーミングアップとクーリングダウン」などについて実技講習を含めての講習会となりました。参加者の皆さんにとっては、即実践できる実技講習でもあり、又、今回の講習会で得られたことを子ども会活動をはじめ、家庭や地域・学校等様々な場面で取り入れていただいて、「ケガ防止」に役立てていただければと思います。



フラーニングにも触れながら、演習・KYTの4ステップや5分間KYT等、きめ細かく時にはアイスブレーキングを取り入れての楽しく充実した研修となりました。特に5分間KYTでは実施上の具体的な導き方についてもお話していただきました。

最後に「ケガ防止」「ケガ防止」について触れ、子どもたちが自分で判断し行動できる力を育むことの大切さを助言いただきました。

子ども会の皆さん

全国子ども会 安全共済会 に 加入しましょう！

- ・ 契約した市町村（地区）の子ども会連合組織に、単位子ども会ごとまとめて申し込んでください。
- ・ 単位子ども会、市町村（地区）子連、長野県子連に所属する者が、次の加入時費用を納める必要があります。

2019 年度加入時費用（1 人）・・・150 円（10 月 1 日以降加入の場合・・・140 円）

（内訳）

全国子ども会安全共済掛金・・・50 円（10 月 1 日以降加入の場合・・・40 円）	} 70 円
全国子ども会連合会運営費・・・20 円（子ども会賠償責任保険料を含む）	
長野県子ども会育成連合会運営費・・・80 円	（10 月 1 日以降加入の場合 60 円）

（各種事業、安全教育、共済金請求事務、事前審査、名簿管理等の費用として）

2019 年度の手続きについて（変更点）

- ① チラシ・様式類の平成表示は西暦表示となります。
- ② 平成 30 年度未使用様式類及び振込用紙は平成表示を訂正してご使用ください。
〈共済様式〉加入 -11 加入申込書（加入者名簿 1）、加入 -12 加入者名簿 2、加入 -13 年間行事計画書、加入時費用振込用紙他

- ・ 詳細については、2019 年度全国子ども会安全共済会加入に伴う事務処理について等に明記
手続き・用紙類を含めての発送時期は、例年どおり 2 月上旬を予定しています。



今年度長野県の共済金支払い事例について（全子連より注意喚起事項）

■ 医療共済金給付（過年度事故発生分）

新年会でサッカーをしていたが、子どもたちからサッカーが飽きたとの相談があり、サッカー・キックベースボール・花いちもんめの班に分かれた。被共済者はキックベースボールに参加したが、人数が少なく親も参加した。守備でボールを追いかけていた時に、同時に追いかけていた大人と衝突して仰向けに倒れ、そのお腹の上に大人も倒れこんだ。暫くベンチで安静にしてから病院にいき異常がないと言われ、一度帰宅したが、容態が思わしくないで再度救急車で病院へ、出血性ショック状態のため、ドクターヘリにて医療機関へ搬送。血止めの手術をし、後日肝臓の半分を摘出し、入院治療後退院 3 月・7 月経過観察後 7/31 完治

■ 賠償責任保険給付（1 件）

活動中、誤って施設（小学校体育館）の非常灯誘導パネル及びランプ等破損してしまった。

※各自体調のチェック、下見等の事前準備や当日の安全教育指導の徹底を再度お願いいたします。

お知らせ

平成 31 年度の予定

◆ 定時総会及び県育成研究協議会

5 月 25 日（土）午前・午後

◆ 会場 長野バスターミナル会館

◆ ジュニア・リーダーセミナー

・ 第 1 回研修 6 月中旬予定

◆ 会場 県社会福祉総合センター

・ 第 2 回研修

9 月 7 日～8 日（土～日）

◆ 会場 国立信州高遠青少年自然の家

◆ 指導者講習会

（日時 未定）

◆ 会場 北信会場・中信会場（木曽地方）

◆ 安全啓発指導者養成講習会（初級）

（日時 未定）

◆ 会場 東北信会場（佐久地方）

中南信会場（飯伊地方）

◆ 全国子ども会育成中央会議・

研究大会

10 月 4 日～6 日（金～日）

◆ 会場 岡山県倉敷市 倉敷市芸文館

◆ 関アロ地区育成研究協議会

10 月 20 日～21 日（日～月）

◆ 会場 静岡県熱海市

編集後記

子どもの手による子ども会 地域の子どもは地域で育てよう と標榜し連綿と活動が続けて来たことに感謝、今一度原点に振り返り長野県内各地域の特色を子ども会活動に活かして地域の青少年健全育成活動の活性化をお願いしたいと思う者です。

（J・M）